

社会資本総合整備計画      事後評価書

計画の名称	海老名市における循環のみちの実現															
計画の期間	平成 2 8 年度    ~    平成 3 2 年度    (5年間)											重点配分対象の該当				
交付対象	海老名市															
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。															
全体事業費（百万円）		合計（ A + B + C + D ）		1,454	A	607	B	847	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （ A + B + C + D ）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（H28当初）	（H30末）	（H32末）（H29末）
1	下水道による都市浸水対策達成率を42.5％（H28）から42.8％（H30）に増加させる。H30より防災・安全交付金へ移行			
	下水道による都市浸水対策達成率	43%	43%	43%
	浸水対策完了済み面積(ha)／浸水対策を実施すべき面積（ha）			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	海老名市	直接	海老名市	管渠（ 雨水）	新設	河原口排水区排水路	L=265m	海老名市						256		-
		平成 3 0 年度より防災・安全交付金（重点計画）に移行。																	
	A07-002	下水道	一般	海老名市	直接	海老名市	管渠（ 雨水）	新設	国分排水区排水路	L=206m	海老名市						317		-
		平成 3 0 年度より防災・安全交付金（重点計画）に移行。																	
	A07-003	下水道	一般	海老名市	直接	海老名市	管渠（ 雨水）	新設	社家排水区（その 3 ）排 水路	L=189m	海老名市						34		-
		平成 3 0 年度より防災・安全交付金（重点計画）に移行。																	
											小計						607		
											合計						607		

B 関連社会資本整備事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	B07-001	下水道	一般	海老名市	直接	海老名市	管渠（ 雨水）	新設	河原口排水区排水路	L=694m	海老名市						140		-	
		H30から重点計画へ切り出した事業箇所の成果指標については、事後評価等を重点計画と一体的に実施する。																		
	B07-002	下水道	一般	海老名市	直接	海老名市	管渠（ 雨水）	新設	国分排水区排水路	L=523m	海老名市						367		-	
		H30から重点計画へ切り出した事業箇所の成果指標については、事後評価等を重点家格と一体的に実施する。																		
	B07-003	下水道	一般	海老名市	直接	海老名市	管渠（ 雨水）	新設	社家排水区（その３）排 水路	L=60m	海老名市						9		-	
		H30から重点計画へ切り出した事業箇所成果指標については、事後評価等を重点計画と一体的に実施する。																		
	B07-004	下水道	一般	海老名市	直接	海老名市	管渠（ 雨水）	新設	今里排水区（その２）排 水路	L=432m	海老名市						151		-	
		H30から重点計画へ切り出した事業箇所の成果指標については、事後評価等を重点計画と一体的に実施する。																		
	B07-005	下水道	一般	海老名市	直接	海老名市	管渠（ 雨水）	新設	杉久保排水区排水路	L=125m	海老名市						180		-	
		H30から重点計画へ切り出した事業箇所の成果指標については、事後評価等を重点計画と一体的に実施する。																		
												小計						847		
											合計						847			

事後評価	
事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
海老名市下水道運営審議会により実施	令和4年12月
	公表の方法
	海老名市ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	浸水被害箇所や未整備路線を整備することにより、浸水被害の低減に寄与した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<p>局所的な集中豪雨など、内水氾濫による浸水被害を軽減するため、浸水被害の多い箇所や未整備路線の整備を今後も継続する。</p> <p>当初平成28年度～平成32年度の5年間の整備計画であったが、平成30年度に防災・安全交付金の重点計画の要件を満たしたため、新たな整備計画を作成し、整備計画を切り替えたことから、平成28年度～平成29年度の「海老名市における循環のみち実現」、平成30年度～令和2年度の「海老名市の公共下水道における防災・安全の実現（重点計画）」の2つの整備計画となった。</p> <p>計画の目標が同じであることから、2つの整備計画を一体として、事後評価を行った。</p>	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	浸水対策完了済み面積（ha） / 浸水対策を実施すべき面積（ha）		
	最 終 目標値	43%	予定していた箇所の浸水対策整備を完了させ目標を達成した。
	最 終 実績値	43%	